

第3回 看護研究発表会



訪問看護ステーションゆりの木草加

久保田 千晶

2025年11月29日埼玉県立大学にて、埼玉県看護協会東部支部の第3回看護研究発表会が開催されました。今年度は9題の演題が発表されいずれも各施設が抱える課題や、日々の実践を丁寧に掘り下げられた内容であり、参加者からは多くの関心が寄せられました。発表後には活発な意見交換が行われ、研究の背景や方法、成果の活用についてさまざまな視点から議論が深まりました。職場における課題を解決したい、よりよい看護を提供したいという発表者の熱意が随所に感じられ、参加者にとっても自施設の取り組みを振り返る貴重な機会となりました。

総括として、埼玉県立大学 健康福祉学部 看護学科鈴木教授よりご講評を賜り、研究の意義や今後の発展につながる視点について、詳細かつ温かみのあるアドバイスをいただきました。参加者一同、研究活動を継続していくことの重要性を改めて認識する時間となりました。

また、研究発表会に続き、倫理に関する教育研修が実施されました。看護研究のみならず、日々の看護実践において倫理的視点を持つことの必要性が再認識されました。本発表会を通じて、東部支部が一体となって看護の質向上を目指す姿勢が改めて示されました。今後も会員同士が学び合い、地域の看護に貢献できる活動を継続してまいります。



編集後記

第3回看護研究発表会では、9題の発表から日々の実践や課題に向き合う姿勢が伝わりました。講評や倫理研修を通じて、研究を続ける意義を共有できた一日でした。今後も東部支部での看護の学びを重ねてまいります。

[制作・編集担当 白鳥 高瀬 久保田]